

浦和自然観察会



キツネノカミソリの観察会

所 在：さいたま市

構成員：32名

さいたま市桜区の荒川河川敷にある秋ヶ瀬公園ピクニックの森は、関東最大規模のハンノキ林を主体に、絶滅が心配される貴重な動植物が多数生育しています。この森を中心に自然観察会を続け、季節の移り変わりを確認しながら自然保護活動を行っています。

関東最大規模のハンノキ林を次の世代に

自然を学び、それを多くの人たちに伝え、自然保護に役立てる



受賞の取組

- ・ 毎月開催するハンノキ林の自然観察会
- ・ 5haに及ぶ調査区域でのすべての樹木の分布情報、希少植物の生育状況・分布情報の地図落とし等の植生調査
- ・ 外来種の除去作業やピクニックの森周辺のゴミ拾い

取組をはじめたきっかけ

都市近郊にある秋ヶ瀬公園ピクニックの森は、驚くほど自然景観が残っており、県の蝶ミドリシジミや絶滅危惧種のチョウジソウなどが生育しています。そこで、毎月テーマを決めて観察会を開き、多くの人たちに理解していただくよう努めてきました。

1997年から1998年にかけて大規模な植生調査を実施しましたが、それから15年が経過し、森がどのように変化しているか、再度調査することとしました。

これからの展望

自然観察会を続けることによって、自然保護の大切さを多くの人たちに理解してもらうことにつながります。そこで自然を理解してもらう活動とともに、ゴミ拾いや外来植物の除去等を行います。

また、植生調査の結果をまとめ、森がどのように変化しているかを科学的に解明し、今後自然とどのように向き合い、自然保護活動に役立てていくか、みんな考えていきたいと思えます。



子供たちを交えてゴミ拾い



植生調査のやり方を研修中

受賞して



会員だけでなく、多くの人々に自然を理解してもらうよう地道な活動を続けてきたことが認められ、大変喜んでいきます。

これからも、さらに「自然観察から始まる自然保護」活動に積極的に取り組んでいきたいと思えます。